

製品安全データシート(SDS)

[混合物用(塗料用)]

1.製品及び会社情報

製品名 :断熱ファイバー (ホワイト)
会社名 :宝栄産業株式会社
住所 :大阪府堺市中区大野芝町94
担当部門 :技術部
電話番号 :072-235-1131
FAX番号 :072-234-0835
緊急連絡先 :072-235-1131

2.危険有害性の要約

【GHS分類】

物理化学的危険性

引火性液体 区分に該当しない

健康有害性

急性毒性 経口 区分に該当しない

急性毒性 経皮 区分に該当しない

急性毒性 吸入 (ガス) :分類できない

急性毒性 吸入 (蒸気) :分類できない

急性毒性 吸入 (粉塵) 区分に該当しない

皮膚腐食性・刺激性 区分に該当しない

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 :区分2

呼吸器感作性 区分に該当しない

皮膚感作性 区分に該当しない

生殖細胞変異原性 区分に該当しない

発がん性 :区分2

生殖毒性 区分に該当しない

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分に該当しない

特定標的臓器毒性(反復ばく露) :区分1

誤えん有害性 :分類できない

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性) 区分に該当しない

水生環境有害性 長期(慢性) 区分に該当しない

オゾン層への有害性 :分類できない

【GHSラベル要素】

注意喚起語 :危険



【危険有害性情報】

:強い眼刺激。
:発がんのおそれの疑い。
:長期または反復暴露による臓器の障害。(呼吸器)

注意書き

【安全対策】

:取り扱い作業場では火気厳禁で局所排気装置を設ける。
:取り扱い中は換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにし、必要に応じて有機ガス用マスク又は、送気ガス用マスクを着用する。
:眼、皮膚に触れない様に保護眼鏡、保護手袋、長袖の作業服を着用する。
:取り扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行う。

【応急処置】

:火災時には、炭酸ガス、泡又は粉末消火器を使用してください。
:眼に入った場合、多量の水で15分以上洗い、速やかに医師の診断を受ける。

- : 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。
- : 皮膚に付着した場合には、石鹼水で洗い落とし、痛み又は外観に変化がある時には、速やかに医師の診断を受ける。
- : 誤って飲み込んだ場合には、直ちに医師の診断を受ける。

【保管】 : 施錠して保管する。

【漏洩】 : 容器からこぼれた場合、砂、布等で拭き取り、不燃性の容器又は水を張った容器に回収する。

【廃棄】 : 内容物、容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託する。

3.組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物
 一般名 : 水性建築用塗料
 成分及び含有量(危険有害物質を対象)

成分名	CAS No.	化審法	含有量(重量%)	労安法
変性アクリル樹脂	登録済み		30~35	
助剤			<7	
二酸化チタン	13463-67-7	1-558	1~5	191号
プロピレングリコール	57-55-6	2-234	≤1	
マイクロキャピセル			15~20	
水			35~40	

4.応急措置

眼に入った場合 : 直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。
 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
 まぶたの裏まで完全に洗うこと。
 : 出来るだけ早く医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 : 誤って飲み込んだ場合には、安静にし直ちにSDSを提示し医師の診断を受ける。
 : 無理に吐かせない。嘔吐物は飲み込ませない。
 : 医師の指示による以外は無理に吐かせない。

皮膚に付着した場合 : 付着物を布で素早く拭き取る。
 : 大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤で十分に洗い落とす。
 溶剤、シンナーは使用しない。
 : 外観に変化や痛みがある場合、SDSを提示して医師の診断を受ける。

吸入した場合 : 蒸気、ガスなどを吸い込んだ場合には、直ちに、空気の新鮮な場所に移し暖かくし安静にする。
 呼吸が不規則か、止まっている場合には人口呼吸を行う。
 : 嘔吐物は飲み込ませないようにする。
 : 直ちに医師の手当てを受ける。
 : 蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
 気分が悪い時には、医師に連絡する。

応急処置をする者の保護 : 適切な保護具(保護メガネ、保護マスク、手袋等)を着用する。

5.火災時の措置

使用可能な消火剤 水(○) 炭酸ガス(○) 泡(○) 粉末(○) 乾燥砂(○)

消火方法 :このもの自体は、不燃性であるが、水分蒸発後の残分は可燃性である。
: 燃焼の際は火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。
: 周辺火災に対応して、消火活動を行う。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 作業の際には適切な保護具(保護メガネ、保護マスク、エプロン、手袋等)を着用する

保護具及び緊急時措置 : 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近かすけなないようにして二次災害を防止する。

環境に対する注意事項 : 河川への排出等により、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法・機械 : 漏出物は密閉出来る容器に回収し安全な場所に移す。
: 付着物、廃棄物等は関係法規に基づいて処置すること。
: スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛り土などで流出を防ぐ水での洗浄なども、河川等への排出、環境汚染を引き起こす恐れもあり廃液を回収する等の必要な処置をとる。

7.取り扱い及び保管上の注意

取り扱い上の注意 : 容器内の圧力が高くなっている場合は、蓋を少しゆるめて圧力を抜き蓋を外す。
: 換気の良い場所で取り扱う。
: 容器はその都度密栓する。
: 皮膚、粘膜又は着衣に触れたり眼に入らぬように適切な保護具を着用する。
: 取り扱い後は手、顔をよく洗い休憩所などに汚染した保護具を持ち込まないこと。

保管上の注意 : 日光の直射を避ける。凍結を避ける。
: 通風の良い所に保管する。
: 転倒、転落しないように注意する。

塗装上の注意 : 皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり目に入らぬよう適切な保護具を着用する
: 塗装後の乾燥は換気量を十分に確保し、塗料の臭気が無くなるまで換気を継続する。

8.暴露防止及び保護措置

許容濃度、管理濃度(職業的暴露限界値、生物学的限界値)
物質名 管理濃度 許容濃度
二酸化チタン 4mg/m³ 10mg/m³ 【ACGIH(TLV)】

設備対策 : 屋内塗装作業の場合は、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置などにより作業者が暴露から避けられるような設備とする。

呼吸系の保護具 : ミストなどの吸入を妨げる保護マスクを着用する。
手の保護具 : 有機溶剤または化学製品が浸透しない材質の手袋を着用する。
眼の保護具 : 取り扱いには保護メガネを着用する。(ゴーグル型)
皮膚及び身体の保護 : 取り扱う場合は、皮膚を直接曝されないよう化学製品が浸透しない材質の衣類を着用する。
また化学製品が浸透しない材質であることが望ましい。

9.物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など : 白色粘濁液状
臭気 : 極微アクリル臭
pH値 : 7.5~8.0
融点・凝固点 : 約0℃
沸点、初留点及び沸点範囲 : 約100℃

引火点	: データーなし	
爆発範囲	: データーなし	
蒸気圧	: データーなし	
蒸気密度(空気=1)	: データーなし	
密度	: 0.40 ± 0.05	
溶解性	: 水でよく溶解する。	
オクタノール/水分配係数	: データーなし	
自然発火温度	: データーなし	
分解温度	: データーなし	
加熱残分	: 64±2 %	
蒸発速度	: データーなし	
燃焼性(固体、ガス)	: 該当しない	
粘度	: 22±4 Pa.s	(BH型粘度計)

10.安定性及び反応性

安定性	: 通常の条件では安定である。
反応性	: このものは燃えないが、塗膜等が燃焼すると CO、NOx などを発生することがある。

11.有害性情報

二酸化チタンとして	
経口	: ラットLD50 >20000mg/Kg
経皮	: ウサギ approxLD50>10000mg/Kg : IUCRID2000は区分外に該当する。
発がん性	: IARCで超微粒酸化チタン(粒径0-50nm)を以って グループ2Bに
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: ウサギを用いた試験で軽度の刺激性との結果
その他の有害情報	: 製品としての安全性試験は行っていない。

12.環境影響情報

一般注意事項	: 漏洩、廃棄などの際、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意。 : 特に製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。
生体毒性	: 情報を有していない。
残留性・分解性	: 情報を有していない。
生態蓄積性	: 情報を有していない。
土壤中の移動性	: 情報を有していない。

13.廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃塗料などを廃棄処理する場合には、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして廃棄処理を委託する。 : 容器・機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。 : 排水処理・焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、及び関係する法規に従って処理するか、業者に委託する。
汚染容器及び包装	: 空容器は内容物を完全に除去してから処分する。 : 許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。

14.輸送上の注意

: 取り扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従う。
: 容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。

国際規制

国連番号 :なし
品名(国連輸送名) :なし
分類又は区分 :なし
容器等級 :なし

国内規制

陸上輸送 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法 該当する場合、それぞれの
該当法律に定められた運送方法に従う。
荷送り人は運送者に運搬注意書(イエローカード等)を交付する。
海上輸送 :船舶安全法に定めるところに従う。
航空輸送 :航空法に定めるところに従う。

15.主な適用法令

労働安全衛生法 :名称等を通知すべき有害物(施行令第18条の2別表第9)
(191号二酸化チタン)
:名称等を表示すべき有害物(施行令第18条の2別表第9)
(191号二酸化チタン)
化学物質排出把握管理促進法 :該当しない
消防法 :該当しない
毒物及び劇物取締法 :該当しない

16.その他の情報

主な引用文献 :日本塗料工業会編集(原材料物質データシート) (社)日本塗料工業会
:製品安全データシート・ガイドブック[混合物用(塗料用)] 日本塗料工業会
:化学物質毒性データブック 丸善
:GHS危険有害性分類結果 (製品評価技術基盤機構 NITE)

注 意 ここに記載された情報は、弊社データを含め種々の技術出版物にあるデータに従った
ものです。必要かつ安全な取り扱いを決定する場合には、使用者がその責任においてこの
情報の利用をお決めください。
尚、ここに記載された情報は、作成時点では弊社の調査による最新の情報に基づき作成
されたものですが、法律、規制等の改正、新たな毒性試験結果の発表等により、改訂が
ありうることを御承知下さい。